



奈良県感染症情報

令和5年 第8週(2月20日～2月26日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

インフルエンザ注意報発令中です!

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	13.55	(16.58)	➡	➡	➡	➡
2	感染性胃腸炎	6.91	(7.09)	➡	➡	↗	↗
3	RSウイルス感染症	0.26	(0.44)	➡	➡	↗	➡
4	咽頭結膜熱	0.18	(0.00)	➡	↑	➡	➡
4	A群溶連菌咽頭炎	0.18	(0.18)	⬇	➡	⬇	⬇

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**⬇やや減少**、**⬇減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第8週の新型コロナウイルス新規感染者数は1048名と第7週の1558名より減少していますが、依然高い値で推移しています。県民のみなさまには、基本的な感染予防対策の徹底を改めてお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

インフルエンザの報告数は先週に引き続き減少していますが、注意報発令基準の「10」を下回っていませんので、注意が必要です。湿度を適切(50～60%)にコントロールして気道粘膜の防御機能の低下を防ぎ、規則正しい生活や栄養バランスのとれた食事で免疫力を高めて、感染予防に努めましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

A型インフルエンザの流行は続いている。今期、B型は経験していない。

新型コロナウイルス感染症は減少している印象です。

ウイルス性胃腸炎は続いている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

インフルエンザが続いてみられるが増加傾向はやや止まっている印象。すべてA型。症状は短期の高熱等の軽症経過。

COVID-19の減少してはいるがまだみられる。インフルエンザとの鑑別は難しく検査結果によっている。

他に嘔吐、水様下痢のノロ様感染性腸炎も流行中、時に高熱の例や、特徴といえるかも知れないが頭痛を伴う例がある。感染力は比較的強いのか、家族内感染も見られている。

乳児のロタウイルスはなかった。

RS、hMP等の呼吸器疾患は減少した。

その他の届け出疾患はなかった。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

インフルエンザの流行が続いている。大部分はA型だがB型も散見される。

COVID-19感染症は減少してきている。発熱者が多いため鑑別の対応者数は減少していない。

症状遷延例には、迅速キットでの診断漏れのインフルエンザに加え、パラインフルエンザやヒトメタニューモウイルスもみられる。

ノロウイルス胃腸炎の流行も続いている。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 5 年 第 8 週 2 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	745 (13.55)	90 (6.43)	224 (16.00)	127 (11.55)	254 (25.40)	50 (8.33)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	9 (0.26)	2 (0.22)		7 (1.00)			
咽頭結膜熱	6 (0.18)		2 (0.22)	2 (0.29)	2 (0.33)		
A群溶連菌咽頭炎	6 (0.18)	2 (0.22)	2 (0.22)		2 (0.33)		
感染性胃腸炎	235 (6.91)	40 (4.44)	67 (7.44)	67 (9.57)	51 (8.50)	10 (3.33)	
水痘	1 (0.03)			1 (0.14)			
手足口病	1 (0.03)		1 (0.11)				
伝染性紅斑							
突発性発しん	5 (0.15)	1 (0.11)	1 (0.11)	1 (0.14)	2 (0.33)		
ヘルパンギーナ	2 (0.06)				2 (0.33)		
流行性耳下腺炎	1 (0.03)		1 (0.11)				
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	3 (0.30)		1 (0.33)	2 (1.00)			
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎							
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市3、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	梅毒7件(奈良市1、郡山2、中和4)

❖ 第8週のトピックス ❖

◆IASR 44(2)、2023【特集】動物由来感染症(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/route/vertebrata/1481-idsr-iasr-topic/11810-516t.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男		1	18	18	21	21	29	40	27	17	30	96	12	8	15	12	6	1	2		374	3132	
	女		2	11	14	24	27	38	41	29	21	19	67	7	11	22	30	1	6	1		371	2714	
RSウイルス感染症	男		1	2	2																	6	32	
	女		1	1	2																		3	19
咽頭結膜熱	男			2	2																	4	31	
	女			1	2		1															2	14	
A群溶連菌咽頭炎	男			1					1		1	1	1									5	47	
	女				1																	1	22	
感染性胃腸炎	男	2	1	16	27	20	14	14	7	5	2	2	10	1	11							132	790	
	女	2	8	18	15	10	13	3	6	7		3	4	1	13							103	652	
水痘	男																							8
	女				1																	1	7	
手足口病	男			1																		1	37	
	女																						20	
伝染性紅斑	男																							2
	女																							1
突発性発しん	男		1	2			1															4	30	
	女			1																		1	30	
ヘルパンギーナ	男				2																	2	5	
	女																						3	
流行性耳下腺炎	男								1													1	2	
	女																						1	
急性出血性結膜炎	男																							
	女																					1	11	
流行性角結膜炎	男																		1			2	9	
	女																							
細菌性髄膜炎	男																							2
	女																							1
無菌性髄膜炎	男																							1
	女																							2
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							
	女																							

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R5 ▲ R4 □ R3 〰 過去10年平均

